

WV-AP114

保証書別添付

本機に関する基本的な内容については「取扱説明書 基本編」、画面上で設定できるメニューと設定方法については「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

「取扱説明書 基本編」、「取扱説明書 操作・設定編」は以下のパナソニックサポートウェブサイト内(取扱説明書掲載ページ)に掲載しています。

https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に本書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019
avid0719-2020 PGQX2332XA Printed in Korea

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限りです。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 0120-878-410 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 基本編の「故障かな!?!」で症状を確かめてください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。

本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

AP111 : WV-AP111で使用可能な機能(電源重畳タイプ)

AP114 : WV-AP114で使用可能な機能(外部電源タイプ)

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話 () -	
お買い上げ日	年 月 日
修理を依頼されるときは	●製品名 HDアナログカメラ
「故障かな!?!」(パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 基本編)で確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。	●品番 WV-AP11 / WV-AP114
	●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用	●補修用性能部品の保有期間 7年
部品代	部品および補助材料代	当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。
出張料	技術者を派遣する費用	

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか?	直ちに使用を中止してください
●本機を使用せずに放置している。	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。
●取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。	●取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
●本機および取付部に破損や善しいさびがある。	●取付ねじがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。⇒点検は、販売店に依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか?	直ちに使用を中止してください
●煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がある。	●故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。
●電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。	
●製品に触るとビリビリと電気を感ずる。	
●電源を入れても、映像や音が出てこない。	
●その他の異常・故障がある。	

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	<p>■異物を入れない (水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。</p> <p>■可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない (爆発によるけがの原因となります。)</p> <p>■塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない (取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。)</p> <p>■落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因となります。)</p> <p>■ぶら下がる、足場代わりにしない (けがや事故の原因となります。)</p> <p>■電源ケーブルを破損するようなことはしない AP114 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引く張る、重いものを載せる、束ねるなど (傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。) ⇒修理の際は販売店にご相談ください。</p>
	<p>■分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。</p>
	<p>■雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない(工事中を含む) (感電の原因となります。)</p>

	<p>■工事は販売店に依頼する (工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。</p> <p>■異常があるときは、すぐ使用をやめる (煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。) ⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。</p> <p>■総質量に耐える場所に取り付ける (落下や転倒によるけがや事故の原因となります。) ⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。</p> <p>■定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。) ⇒点検は、販売店に依頼してください。</p> <p>■専用の取付金具を使用する (落下によるけがや事故の原因となります。) ⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。</p> <p>■ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける (落下によるけがや事故の原因となります。)</p> <p>■配線は電源を切ってから行う (感電の原因となります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。)</p> <p>■人がぶつからない高さに取り付ける (けがの原因となります。)</p> <p>■落下防止対策を施す (落下によるけがの原因となります。) ⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。</p> <p>■振動のないところに設置する (取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。)</p> <p>■配線は正しく行う (ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。)</p> <p>■設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかり取り付ける (けがや事故の原因となります。)</p>
--	--

注意

	■お手入れのときは電源を切る (けがの原因となります。)
	■金属のエッジで手をこすらない (強くこするとけがの原因となります。)

: 直流電源記号

: 交流電源記号

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編(本書) : 設置手順、取り付け、ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。
- 取扱説明書 基本編(パナソニックサポートウェブサイト内) : 本機に関する基本的な内容(使用上のお願ひ、設置上のお願ひ、仕様など)を記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編(パナソニックサポートウェブサイト内) : 本機の画面上で設定できるメニューと設定方法について記載しています。

本書内で使用している「<管理番号 : Axxxx>」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

- メモ : 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

使用上のお願い

本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。

機器が濡れないようにご使用ください。

水滴または水沫のかからない状態でご使用ください。

本機に電源スイッチはありません。

AP11
電源を切る場合は、HDアナログカメラ駆動ユニット(別売り)の電源をOFFにするか、カメラに接続されている同軸ケーブルを取り外してください。

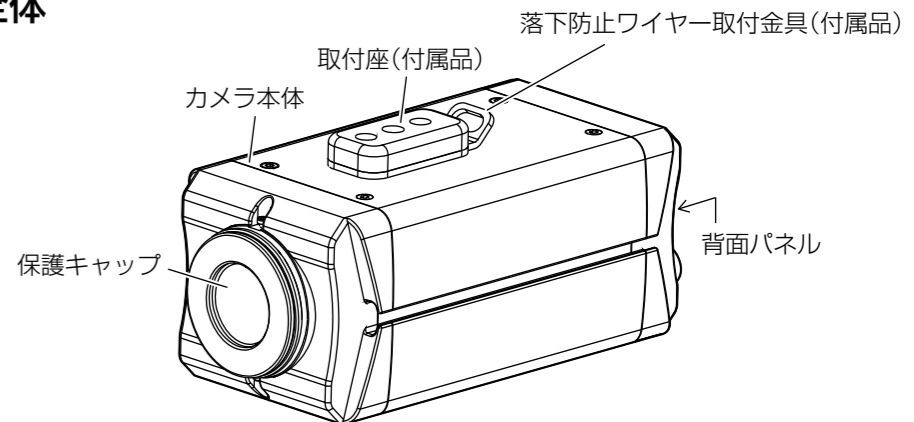
AP114
電源を切る場合は、DC12VまたはAC24V電源をOFFにしてください。
その他の「使用上のお願い」、「設置上のお願ひ」はパナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 基本編をお読みください。

VCCIについて

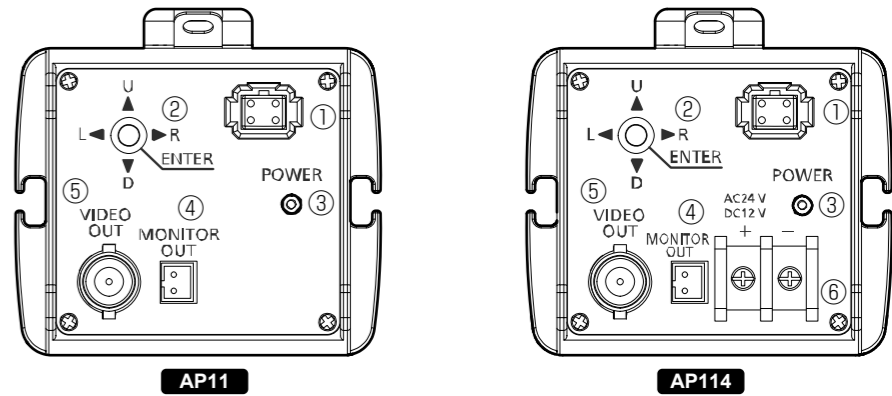
この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

各部の名前

■ 全体



■ 背面パネル



- ALCLレンズコネクター
 - 操作ボタン
 - 電源ランプ
 - MONITOR OUT端子
 - VIDEO OUT端子
 - 電源接続端子 **AP114**
- レンズケーブルを接続します。
オンスクリーンメニューを操作します。
カメラに電源が供給されると緑点灯します。
調整用コンポジット映像信号出力端子
BNC端子変換ケーブル(付属品)を接続して使用します。
HD VIDEO信号出力端子
DC12VまたはAC24V電源からのケーブルを接続します。

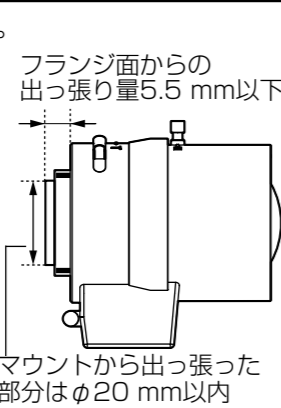
付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編(本書).....1冊 保証書.....1冊
 以下の付属品は取付工事に使用します。
 落下防止ワイヤー取付金具.....1個 取付ねじ(M2x8 mm).....3本
 取付座.....1個 (うち1本は予備ねじ)
 BNC端子変換ケーブル.....1本

付属品以外に必要なもの

工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

- 本機にはレンズは付属されていません。動作確認済みレンズについては、パナソニックサポートウェブサイト(https://sol.panasonic.biz/security/support/info_anlg.html<管理番号: A0102>)を参照してください。
- マウントから出た部分がφ20 mm以下、フランジ面からの出っ張り量が5.5 mm以下、カメラのケーブル長が200mm以上のレンズをお使いください。フォーカス調整機構のないレンズおよびズームレンズはご使用になれません。



② 固定用ねじ、もしくはアンカーボルト(M6、JIS規格品)

取付方法	推奨ねじまたはアンカーボルト	最低引抜強度(1本あたり)
WV-Q180(カメラ取付台(天井用))を使って天井に固定する	M6×4本	562 N {57 kgf}
WV-Q181(カメラ取付台(壁面用))を使って壁に固定する	M6×5本*	724 N {74 kgf}

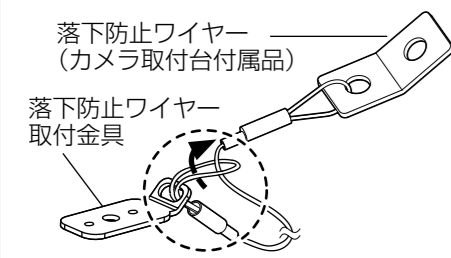
● WV-Q180もしくはWV-Q181の取扱説明書もご参照ください。
 *落下防止ワイヤー固定用を含む。

重要

- 最低引抜強度の説明についてはパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。https://sol.panasonic.biz/security/support/info_anlg.html<管理番号: A0101>
- カメラとカメラ取付台(天井用または壁面用)(別売り)の質量に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

カメラの準備をする

【1】落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤー取付金具(付属品)に取り付ける。

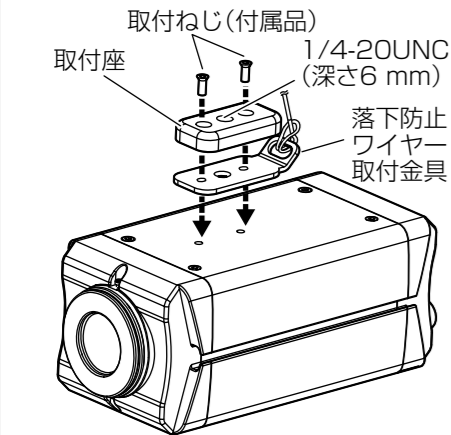


メモ

- 落下防止ワイヤーは別売りのカメラ取付台に付属されています。

以降のイラストでは、落下防止ワイヤーの表記を省略している場合があります。

【2】カメラに落下防止ワイヤー取付金具(付属品)と取付座(付属品)を取り付ける。



- WV-Q180(カメラ取付台(天井用))使用时
落下防止ワイヤー取付金具、取付座はカメラ天面に取り付けてください。
 - WV-Q181(カメラ取付台(壁面用))使用时
落下防止ワイヤー取付金具、取付座はカメラ底面に取り付けてください。
- 推奨締付トルク: 0.3 N・m {3 kgf・cm}

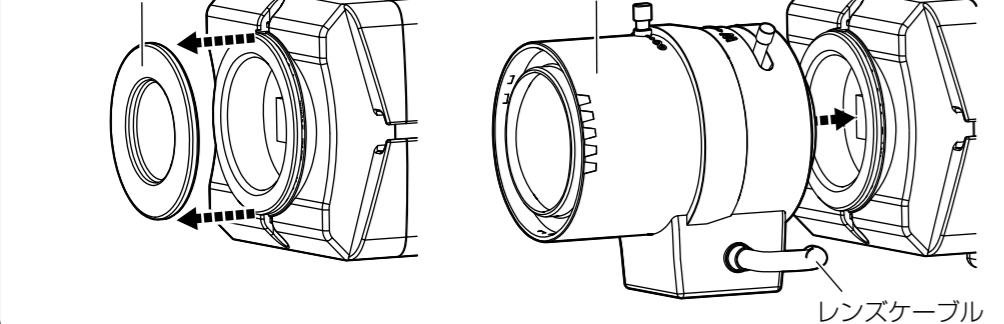
メモ

- 落下防止ワイヤー取付金具と取付座はそれぞれの外周が合うように向きをそろえてください。

上のイラストはWV-Q180を使ってカメラを天井に取り付ける場合です。

【3】カメラにレンズを取り付ける。

- 本機のレンズ取付口に付いている保護キャップを取り外す。
- 動作確認済みレンズ(現地調達)をゆっくり時計方向に回して取り付け、レンズケーブルをカメラ背面のALCレンズコネクタに接続する。(各部の名前参照)

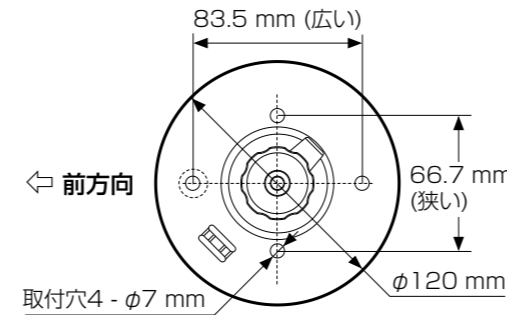


設置する

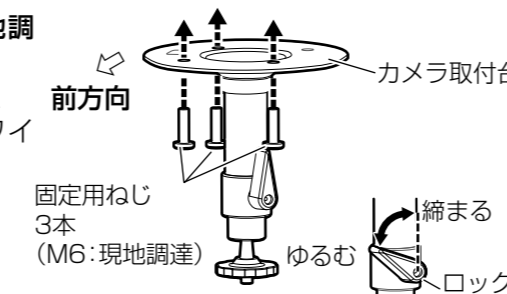
● 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

■ WV-Q180(カメラ取付台(天井用))(別売り)を使って固定する場合

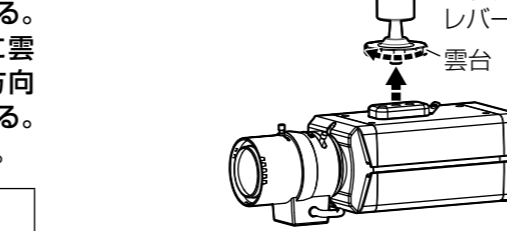
- カメラ取付台に付属の設置用型紙を使って、固定用ねじの穴をあける(4か所)。
穴径や穴の深さは、ご使用の固定用ねじまたはアンカーボルトの仕様にしたがって決定してください。



- カメラ取付台を固定用ねじ3本(現地調達)で固定する(右図の3か所)。
最低引抜強度: 562 N {57 kgf} 以上
- 残りの1か所は【4】で落下防止ワイヤーと共締めします。



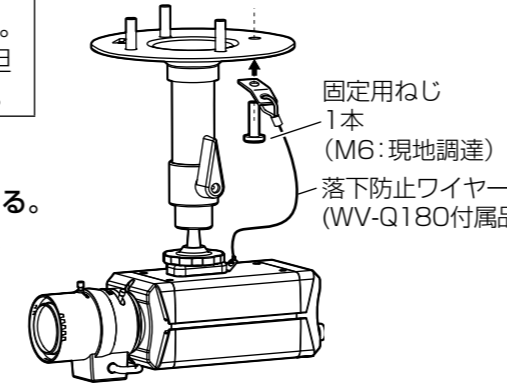
- ロックレバーをゆるめて雲台を解除する。カメラに取り付けた取付座のねじ穴に雲台のねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。ロックレバーを締めて雲台を固定する。



重要

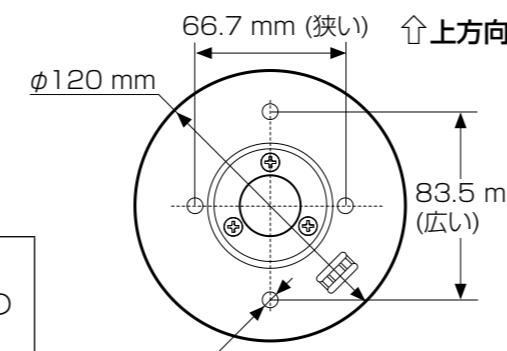
- 必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

- 落下防止ワイヤーを残りの固定用ねじ(現地調達)でカメラ取付台に共締めする。
最低引抜強度: 562 N {57 kgf} 以上



■ WV-Q181(カメラ取付台(壁面用))(別売り)を使って固定する場合

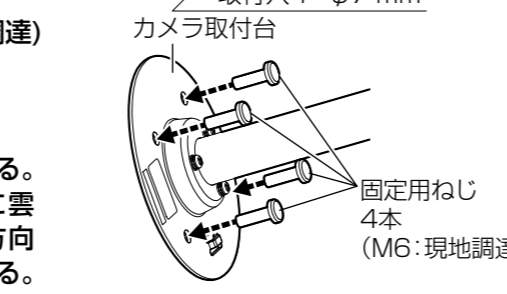
- カメラ取付台に付属の設置用型紙を使って、固定用ねじの穴をあける(4か所)。
穴径や穴の深さは、ご使用の固定用ねじまたはアンカーボルトの仕様にしたがって決定してください。



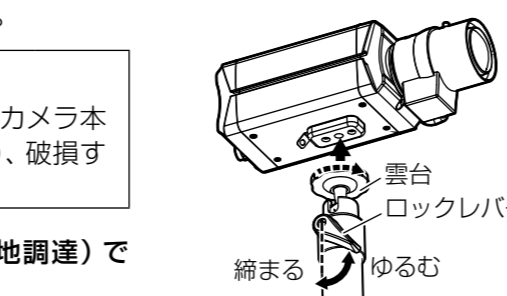
重要

- カメラ取付台は床面から2.7 m以上の高さに取り付けてください。

- カメラ取付台を固定用ねじ4本(現地調達)で固定する。
最低引抜強度: 724 N {74 kgf} 以上



- ロックレバーをゆるめて雲台を解除する。カメラに取り付けた取付座のねじ穴に雲台のねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。ロックレバーを締めて雲台を固定する。



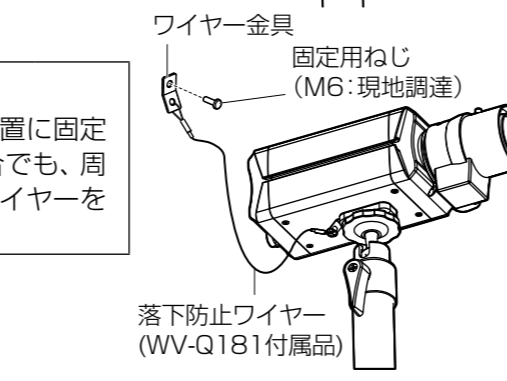
重要

- 必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

- 落下防止ワイヤーを固定用ねじ(現地調達)で壁面に固定する。
最低引抜強度: 724 N {74 kgf} 以上

重要

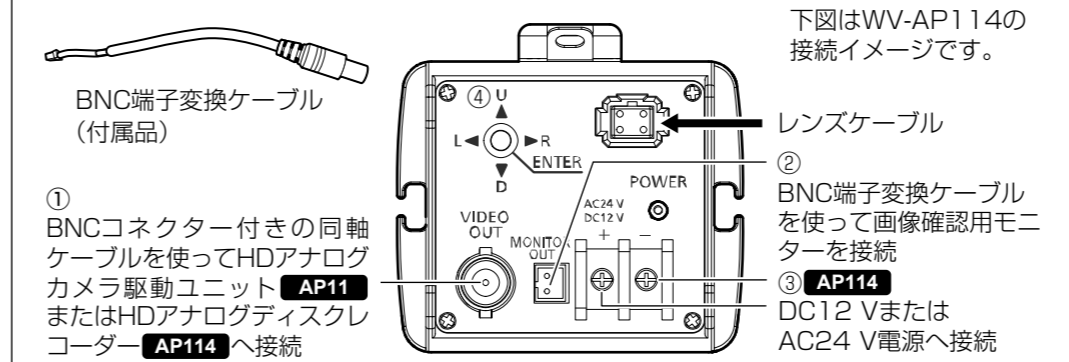
- 落下防止ワイヤーはカメラより高い位置に固定してください。万一本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように落下防止ワイヤーを取り付けてください。



接続する

カメラとHDアナログカメラ駆動ユニット(別売り)またはHDアナログディスクレコーダー(別売り)を接続するケーブルは、BNC-BNC端子付きの5C-2V同軸ケーブル(現地調達)をご使用ください。

同軸ケーブル	3C-2V使用时	5C-2V使用时
最大ケーブル 延長距離	最大300 m	最大500 m



- VIDEO OUT端子
AP11 HDアナログカメラ駆動ユニットのカメラ入力端子と接続してください。
AP114 HDアナログディスクレコーダーの映像入力端子に接続してください。

メモ

- HDアナログカメラを複数台接続し、同軸ケーブルが近接する場合は、映像に縦縞のノイズなどが発生する場合があります。画面の症状や対処の方法については、パナソニックサポートウェブサイト(https://sol.panasonic.biz/security/support/info_anlg.html<管理番号: A0104>)を参照してください。

- MONITOR OUT端子
BNC端子変換ケーブル(付属品)を使って、画像確認用のモニターに接続します。VIDEO OUT端子をSD OUT(コンポジット映像信号)に切り換えて使用する場合は、MONITOR OUT端子からの出力はなくなります。

- 電源接続端子 AP114
外部電源を使用する際に、DC12 VまたはAC24 V電源からのリード線(AWG 16~AWG 24単線もしくはより線)をこの端子に接続します。

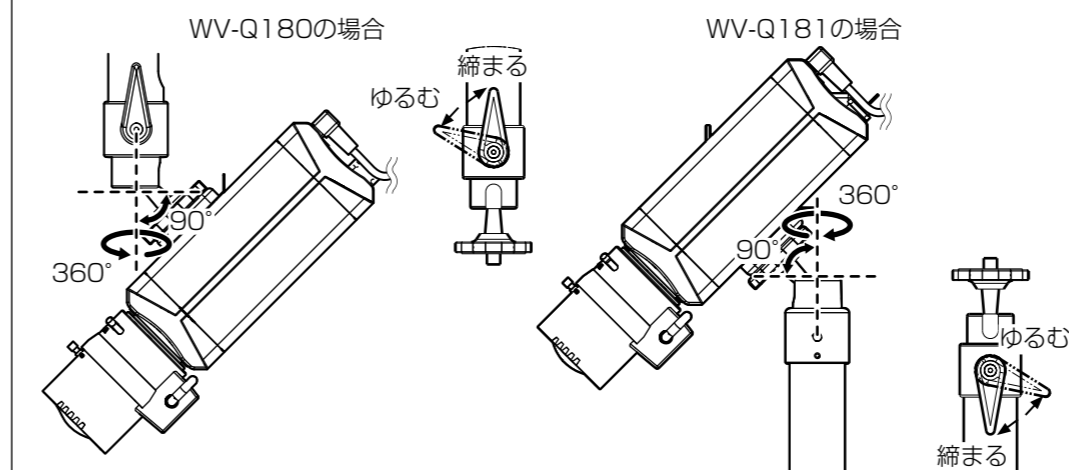
- 操作ボタン
背面パネル上の操作ボタンで、オンスクリーンメニューを操作します。操作ボタンを押すと「選択」となります。オンスクリーンメニューの操作方法と基本設定は、右上の「オンスクリーンメニュー」をご参照ください。

調整する

- カメラの方向を調整する。
カメラ取付台のロックレバーをゆるめて、画像確認用モニターを見ながら、方向を調整します。方向を調整したあとは、必ずしっかりとロックレバーを締め直してください。

重要

- カメラの方向を調整する場合は、必ずカメラ取付台のロックレバーをゆるめてから調整してください。ロックレバーが締められた状態で方向を変えると、カメラ取付台やカメラに無理な負荷がかかり、破損の原因になります。



【2】画角とフォーカスを調整する。

- ズームロックつまみをゆるめ、被写体に応じてズームロックつまみを持って回し、画角(視野角)を調整します。
- ズームロックつまみを締め付けます。
- フォーカスロックつまみをゆるめ、フォーカス調整リングを回してフォーカスを調整します。
- フォーカスロックつまみを締め付けます。
- ①~④を繰り返して画角とフォーカスを合わせます。
 - 明るい環境でフォーカスを合わせると、夕方や夜間にフォーカスがボケる場合があります。その場合は[IRIS]の設定を[ELC]に変更し、[SHUTTER] (MANUAL) 画面で、電子シャッターのスピード[SPEED]を1/30(初期設定)にした状態でフォーカスを再調整してください。

オンスクリーンメニュー

本機はHDアナログディスクレコーダーに接続されたディスプレイまたは画像確認用のモニターの画面上から、「メニュー」を使ってカメラの動作を設定できます。ここでは設置に関係する「システム」部分の概略を説明します。メニューの詳細内容はパナソニックサポートウェブサイト内(取扱説明書掲載ページ)の「取扱説明書 操作・設定編」をご参照ください。

【1】操作ボタンの使用方法

- メニュー画面を表示する。
 - 操作ボタンを押して、[MENU] 画面を表示します。
 - カーソル位置は文字が黄色になっている部分です。
- 画面のカーソル位置を移動させる。操作ボタンを▲(上: UP)、▼(下: DOWN)に動かすと、画面上のカーソル位置が上下に移動します。
- 項目を切り換え選択する。操作ボタンを◀(左: L)、▶(右: R)に動かして表示内容を切り換え、操作ボタンを押す●(ENTER)と選択できます。
- 変更内容を確定させる。カーソルを[EXIT]に移動して操作ボタンを押すと、設定内容を保存して[MENU] 画面を閉じます。

MENU	
IRIS	ALC
EXPOSURE	OFF
BACKLIGHT	OFF
BW MODE	AUTO
COLOR	MID
DNR	OFF
SPECIAL	OFF
MOTION DET	OFF
SYSTEM	SAVE
EXIT	

重要

- オンスクリーンメニューは、何も操作をしないと約90秒で閉じます。その場合、保存していない変更内容は破棄されます。
- 各画面で設定を変更した場合は、カーソルを[RETURN]に合わせ操作ボタンを押して、設定を保存してください。

【2】システムメニューの内容

[MENU] 画面から、[SYSTEM] にカーソルを移動させ、操作ボタンを押すと、[SYSTEM] 画面が表示されます。

[SYSTEM] 画面	
OUTPUT MODE	FULL
PEDESTAL	HD-CBCR
COLOR SPACE	OFF
COLOR BAR	OFF
CAMERA ID	ON
RESET	
RETURN	

① OUTPUT MODE

[OUTPUT MODE] にカーソルがある状態で操作ボタンを押すと [OUTPUT MODE] 画面になり、以下の内容が表示され、それぞれ設定できます。

- VIDEO OUT HD OUT
(左: L) 操作 (右: R) 操作で
HD OUT ⇄ SD OUTを切り換えます。
 - CONFIRM YES
 - RETURN
- [SYSTEM] 画面に戻ります。

[OUTPUT MODE] 画面	
VIDEO OUT	HD OUT
CONFIRM	YES
RETURN	

② PEDESTAL

(左: L) 操作 (右: R) 操作で、FULL → COMP → USER を切り換えます。FULL: カメラの撮影画像によって自動的に明るさを調整します。COMP: FULLモードに0~32の間で程度の明るさを加えることができます。USER: ユーザーが手動で明るさを調整できます。

③ COLOR SPACE

(左: L) 操作 (右: R) 操作で、HD-CBCR → YUV → SD-CBCR を切り換えます。

④ COLOR BAR

(左: L) 操作 (右: R) 操作で、OFF → ONを切り換えます。

⑤ CAMERA ID

(左: L) 操作 (右: R) 操作で、以下のように位置を変更できます。
OFF → RIGHT UP → LEFT DOWN → LEFT UP → RIGHT DOWN
● 表示できる文字数: 16文字
● 使用できる文字の種類:
数字 (0~9)、アルファベット (A~Z) 記号 (19個)、カタカナ (58文字)

[COLOR BAR] 画面	
COLOR BAR	ON

⑥ RESET

[RESET] にカーソルを合わせて、操作ボタンを左に2回、右に2回倒したあと、操作ボタンを「PUSHING」が表示されるまで長押しします。

⑦ RETURN

選択位置を(上: UP)操作 (下: DOWN)操作で [RETURN] にあわせて操作ボタンを押すと、[MENU] 画面に戻ります。

[CAMERA ID]表示イメージ	
CAMERA ID	00000000

メモ

- オンスクリーンメニューは、HDアナログディスクレコーダーに接続されたディスプレイ上から、マウスまたは前面パネルの十字ボタンを使って操作できます。
- 使用する画像確認用モニターによっては、画面上に表示される文字が欠けて見える場合があります。